

いつまでも生きていて
もらいたかった——

宮崎三二さま

主婦会西浜田 坂上チヨノ

また母をなくさぬため、主人を
はげましてもらったり、人の
困苦を見れば見ないふりのできな
い、正義感の強いお人でした。
「つらいときは手を取り合お
う」と、労働歌の文句にありますが
が、その言葉通りを実行なさって
いられた宮崎さんでした。
宮崎さん一家のためはもちろ
んのこと、世のため、人のため、
三池労組のために、いつまでもい
つまでも長生きしてもらいたかつ
たものです。残念でなりません。
去る四月二十九日のこと、私は
仕事を休んでいました。
その日誰かが、職場に私をたず
ねてくれたのだそう、その人の
伝言から、私は宮崎さんの再入
院を知りました。
五月四日に、私は主人とお見舞
いに行きました。そのとき宮崎さ
んは、「あんな方には、きれいな
花が咲くといい」と、いわれまし
たので、「宮崎さんからももらった
球根が芽を出して、きれいなつぼ
みをつけています。二日から三日ぐ
らいしたら花が咲きますから、も
つてきます」と、お約束して別れ
ました。
会話は別れの初めなり、と申し
ますが、まさにその通りです。
まさか、その日が最後の別れにな
ることは夢にも思いませんでした。
四月二十九日に、私を職場にた
ずねてくださった人がだれだ
かわかりませんが、その人に
心から感謝いたします。ありがと
うございました。
春闘もまた世の不況も区別なく
極楽浄土に友は近きけり
幾たびかの手厚い手術の甲斐も
なくとくに帰らぬ人とはなりけ
り
根柢けしもらいし花が今日咲
きて今やさげ山友の仏前(み
まえ)に

三池主婦会、学習会を開催 教育を守るのは婦人

改めて自覚した社会的責任

三池主婦会は五月三十日三川指
導部の会館で、学習会を開催し
員だった宮崎小市さん。
この日のテーマは「婦人と政



三池の闘いのなかには、いつも三池
主婦会々員の元気な姿がある。

治」で、この日集まった八十人の
三池主婦会員も、宮崎さんの豊か
な話題に思わずひき入れられ、最
後まで熱心に耳を傾けた。
宮崎さんのお話の結論は、婦人
はとくに教育問題にもっと関心を
もつべきである。人口が男性より
多い婦人が正しい教育のための
力になってこそ、はじめて政治も
変えることができる——というの
であった。
さて、宮崎さんのお話の内容は
どんなものだったろうか。

ヨーロッパの国々は、よくレデ
イファスト(女性尊重)だといわ
れる。
だが、それは歴史のはじめから
ではない。ギリシャ神話によれば
男女はもととも背なかで食つた
一休体だった。
ところがある時期、神が背なか
から二つに切り離したために、男

便り

押啓
ご無沙汰しています。
皆様、お変わりありませんか。
「みいけ」、毎週送っていたた
き、どうもありがたうございま
す。四月十六日発行の「みいけ」
の子ども作文を読み、私の心は
怒りで一杯になりました。

が、「三井より市民を大切に
する市政の確立」を目標に訴
えて、反自民・反三井の闘い
を続けていきました。
力強い共同闘争ができたが、
三池新労組の集会所には、
自動車がずらり並び、人は多
勢集まっています。でも、県
議・市議で落選者を出しまし
た。

地方選挙の思い出

主婦会敷島分会 南場 節子

一般の市民、農民、商業民
の方たちが続々とめかけて下
さる。

お互いに、「よかった。よ
くやった」と、後は胸が「は
ま」を落としたのは残念でな
りません。文字通りの情状でし
たが、県議・市議は、大卒
だ、と思います。

た。ただ、外見上顔つくりだ
けのこと、動くのと、一人
ひとりが体当たりで行動する
ことの結果は、はつきり出たの
とが、県議・市議は、大卒
だ、と思います。

と女の区別のついた人間ができた
ところが二人一体だったまでは
強かったのに、二つに分かれた人
間は弱くなった。
とくに女の方が弱くなり、だか
らヨーロッパの言葉は人間をい
あらわすのに必ずマン(男の意
味)を使い、女の場合は特別ウ
マンというのである。

楽しかった ちご狩り

18日、婦人部が

五月十八日、婦人部は子供たち
を含めて多数の参加を得、田主知
の「石井果樹園」でいちご狩りに
興じた。
久しぶりの晴天に恵まれて、絶
好の旅行日和。車中、松岡中央委
員の奮闘状況報告を受け、お互い
に交流を行った。
(三池労組婦人部から)

改めて、婦人の社会的責任を自
覚した学習会だった。

北海道の 順子ちゃんへ

名古屋 倉田 清美

十五年、私は順子ちゃんによ
うに良い子ではありませんでした。
小学校を一回、中学校を一回、
妹は小学校を三回かわりました。
最後に、住みれたボタ山を去
りました。
実社会に出て、世の中の仕組み
が理解できるとき、私は両親に大
変悪いことをしたのだと後悔しま
した。十五年過ぎたいまも、「閉
山」という言葉は消えることな
く、多くのひととを苦しめている
のです。
「閉山」——。いまなお幼い子
どもの胸をこんなにまで痛めつけ
ているのかと思うと、資本家・政
府を殺してやりたい。
私に羽が生えていたら、順子ち
ゃんの所に飛んで行って、「順子
ちゃんは今どこにいますか?」と
「よ」といってほめ、たきしめて
やりたい。
順子ちゃん、これから先きもあ
なたの行く手には、まだまだ沢山
の困難があるでしょう。しかし順
子ちゃんはやまの子。どんな困難
にも負けないで、たくましい子に
育って下さいね。

私の職場は公書をまき散らして
閉鎖され、やむなく労働者は全員
退職させられました。
私は地域の労働者の暖い支援の
に健康を奪われた労働者が、皆さ
んの命を守る闘いを支援している
ことを知り、私もこんなことで負
けてはいられないといつも励まし
られています。
最後に、皆様のご健康をお祈り
しています。さようなら。
×
CO・遺族会事務局長へ寄せ
られた、倉田さんの心ごものお手
紙は、必ず北海道の順子ちゃん
のもとに届くように努力したいと思
います。
倉田さんのお住まいは「名古屋
市港区正徳町六一七」です。お
互いに手を取り合って、歩いてゆ
きましょう。
不景気
なお倉田さんのお手紙は、述べ
るまでもなく本紙(二〇〇号)四
月十六日発行の「北海道の手と
もの作文」を紹介したうちの二
つ、小学一年の順子ちゃんへの
「ひっこし」に感動のあまり、寄
せられたものです。